

＜新型コロナウイルスの影響による男女差について＞

新型コロナウイルス感染症の拡大は、女性と男性に対して異なった社会的・経済的影響をもたらしている。外出自粛や休業等による生活不安・ストレスからの配偶者等からの暴力や性暴力の増加・深刻化が懸念されている。また、非正規雇用労働者、宿泊、飲食サービス業等への影響が大きいことから、女性の雇用、所得に特に影響が強く現れており、経済的困難に陥るひとり親家庭の増加も危惧される。さらに、子育てや介護等の負担増加も懸念されている。こうした状況を踏まえ、平時のみならず、非常時・緊急時にも機能するセーフティネットの整備を図る必要がある。

(第5次男女共同参画基本計画より抜粋)

※資料 1 - 2 参照

(全国の様況)

●雇用者数について

- ・2020年3月に男性雇用者数が32万人減少した一方で、女性雇用者数が74万人減少しており、女性雇用者の減少幅が大きくなっています。

●休業者数について

- ・2020年4月の男性の休業者数が240万人に対して、女性の休業者数が357万人と、女性の休業者数が大幅に増加しています。

●産業別就業者数の前年同月差について

- ・建設、卸売は男性就業者のほうが増加していますが、製造、小売、飲食、生活、娯楽は女性就業者のほうが増加しています。

● DV相談件数の推移

- ・配偶者暴力相談支援センターの相談件数は2020年4月から6月にかけて前年比で約30%増となっています。また、新規に2020年4月に始まったDV相談プラスも相談件数を増加させています。

● 自殺者数

- ・自殺者数は引き続き男性のほうが多いものの、2020年6月以降女性の自殺者数が急激に増加しています。

全国の状況からわかること

非正規雇用労働者が多く、子育て、介護、家事の負担が大きい女性のほうが、新型コロナウイルスの影響を多く受けていることがわかりました。

(苫小牧市の状況)

● 【男女別】困っていることや心配なこと

- ・「働き方への不安・仕事の見通し」は男性のほうが心配しており、「家事や子どもの世話の負担増」は女性のほうが心配しています。

● 【男女別】生活や行動の変化

- ・「食事の支度や掃除などの家事」は女性が増えたと感じており、「仕事（業務量）」は男性が増えたと感じています。

苫小牧市の状況からわかること

コロナ禍においても男性は外で仕事、女性は家事や子育てといった男女の固定的役割分担意識が引き続き強いことがわかりました。